DEW
stream 2015

Planning, Design, and Consulting
SHIMIZU CORPORATION

vol.75

Nanzan University Nagoya Campus Building S | 02 - 05
Shimizu Institute of Technology Advanced Earthquake Engeneering Laboratory | 06 - 09
Nihonbashi Muromachi Higashi Area Project | 10 - 11
YGU International College of Liberal Arts | 12 - 13
KYOKUTO SHOKAI HEAD OFFICE | 14 - 15
Toyosu SKYZ –Tower&Garden– | 16 - 17
NISEKO VILLAGE　SHOPPING & DINING AREA | 18 - 19
Astellas TAKAHAGI TCT BUILDING | 20 - 21
KOMATSU AWAZU CONSTRUCTION MACHINE ASSEMBLY PLANT | 22 - 23
Aichi Institute of Technology New Building No.2 | 24 - 25
MEIDI-YA KYOBASHI BUILDING | 26 - 27
Maebashi　Central Eye Clinic | 28
MATSUYAMA SHIMIN HOSPITAL | 29
Hyakugo Bank Head Office, IWATA | 30 - 31
la kagu | 32 - 33
SANYO hanbai HIROSHIMA Office | 34 - 35
OTSUMA TAMA LIBRARY | 36 - 37
UGT Project | 38 - 39
Center for Food & Medical Innovation | 40
KUREHA Central Laboratory | 41
KKD BUILDING | 42 - 43
ASANTE MIKKABI EDUCATIONAL CENTER | 44
HAKATA GREEN HOTEL | 45
SEICHO-NO-IE HARAJYUKU PROJECT | 46 - 47
ANAHACHIMAN-Shrine KOROU | 48 - 49
109CINEMAS FUTAKOTAMAGAWA | 50 - 51
space expansion in mokuzai.com | 52 - 53
CANON　BUSINESS MACHINES (PHILIPPINES), INC. NEW FACTORY | 54
FACTORIES OF NON-JAPANESE GLOBAL COMPANIES | 55
Next Stage NEW SUNPLAZA | 56
ecoBCP | 57
COMPETITION | 58
stream DEW WORKS · stream DEW MEMBER | 59 - 61
DATA OF WORKS | 62 - 64

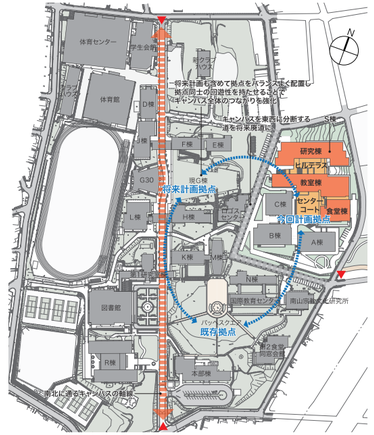
Planning, Design, and Consulting
by SHIMIZU CORPORATION + Field Four Design Office + PD SYSTEM

DEW
stream 2015
特集：近作プロジェクト

vol.75

南山大学名古屋キャンパスS棟 02 - 05
清水建設技術研究所 先端地震防災研究棟 06 - 09
日本橋室町東地区開発 10 - 11
山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟 12 - 13
極東商会本社ビル 14 - 15
スカイズ タワー＆ガーデン 16 - 17
ニセコビレッジ ショッピング＆ダイニングエリア 18 - 19
アステラス高萩事業場 TCT棟 20 - 21
コマツ粟津新組立工場 22 - 23
愛知工業大学 新2号館 24 - 25
明治屋京橋ビル（免震レトロフィット） 26 - 27
医療法人社団 協友会 前橋中央眼科 28
松山市民病院 29
百五銀行 岩田本店棟 30 - 31
la kagu 32 - 33
三洋販売広島支社 34 - 35
大妻多摩中学高等学校図書館棟 36 - 37
UGTプロジェクト 38 - 39
北海道大学フード＆メディカルイノベーション国際拠点 40
株式会社クレハ 中央研究棟 41
KKDビル 42 - 43
アサンテミケ日総合研修センター 44
博多グリーンホテル1号館 45
生長の家 原宿本部跡地計画 46 - 47
穴八幡宮 鼓楼 48 - 49
109シネマズ二子玉川 50 - 51
モクザイ.コム 増床計画 52 - 53
キヤノン フィリピン工場 54
国際支店の取り組み 55
区役所・サンプラザ地区　事業構築パートナー選定プロポーザル 56
eco BCPへの取り組み 57
コンペティション 58
stream DEWの活動・stream DEW　委員一覧 59 - 61
作品データ・組織表 62 - 64

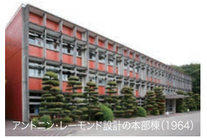




キャンパス全体の将来計画を見据えた配置計画

将来計画も視野に入れて、学生の拠点となる広場をバランスよく配置した。南北に通るキャンパスの軸線に絡めて、拠点同士の回遊性をもたせることでキャンパス全体のつながりを強化する。


名古屋市水道局の煉瓦


アントニン・レーモンド設計の本部棟(1964)

Nanzan University
Nagoya Campus Building S
南山大学名古屋キャンパスS棟

人・歴史・自然をつなぐキャンパス



2017年のキャンパス統合へ向けた第1期工事となる本計画は、理工学部と理工学研究科の研究室、全学共用の大小教室、食堂、店舗などを複合させた大学校舎である。

「つなぐ」をテーマに、明快な棟構成によるゾーニングとそれらをつなぐ多様な学生の居場所づくり、既存キャンパスと名古屋市の歴史の継承、緑豊かな丘に建つ敷地の特性を生かした自然とのつながりを目指して計画を行った。

既存キャンパスに受け継がれてきた、プレキャストの垂直水平ルーバーが印象的なアントニン・レーモンドのデザインを踏襲しつつ、今回は構造体も含めたプレキャストコンクリート工法を採用し、最新の手法で歴史をつないでいる。
内外床には名古屋市水道局の濾過池で100年間使用されていた大正期の煉瓦を使用することで名古屋市の歴史を継承する一端も担っている。

第47回中部建築賞受賞

戸塚 祐造・石川 慎一郎







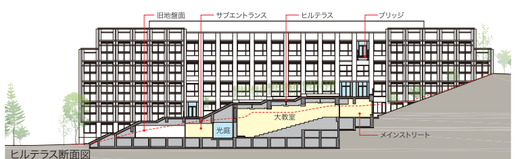




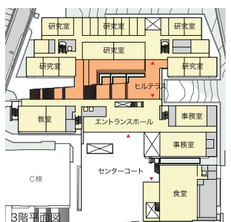


丘の記憶をつなぐ「ヒルテラス」

かつてあった丘を人工地盤で再現した研究棟と教室棟をつなぐ大階段広場のヒルテラスには西からの卓越風が駆け上り、各棟の自然通風を促す。ガラスボックスのセミナー室、空中ブリッジ等、伝統的な既存キャンパスの中に新しさを加える要素を散りばめた。



ヒルテラス断面図



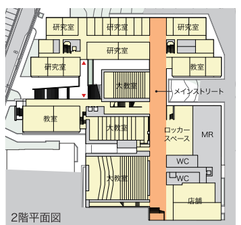
3階平面図



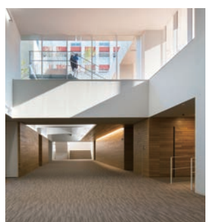
キャンパス全体の将来計画を見据えた配置計画

研究棟、教室棟、食堂棟の3棟をつなぐメインストリートにはロッカースペース、ラウンジ、大教室、書店など、多様な用途を配し、吹抜やドライエリアからの自然光と木を基調としたインテリアにより、地下であることを感じさせない温かみのある空間とした。

学部、学科を問わず、多くの学生が行き交い、新たな出会いが生まれ、人と人とがつながる場所である。

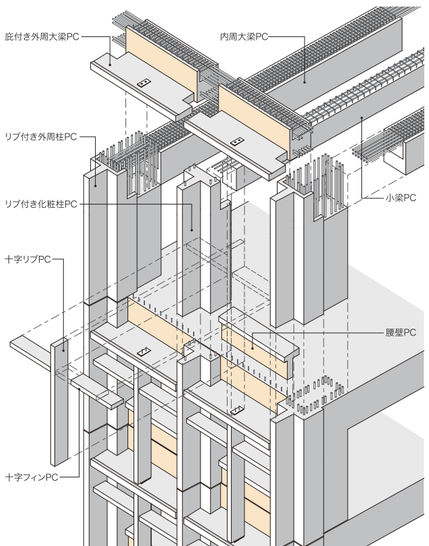


2階平面図

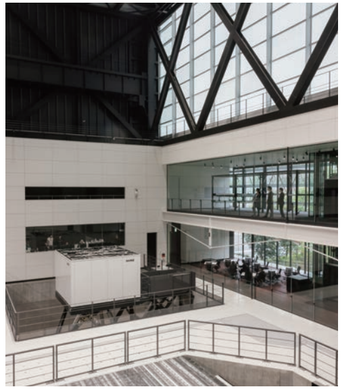


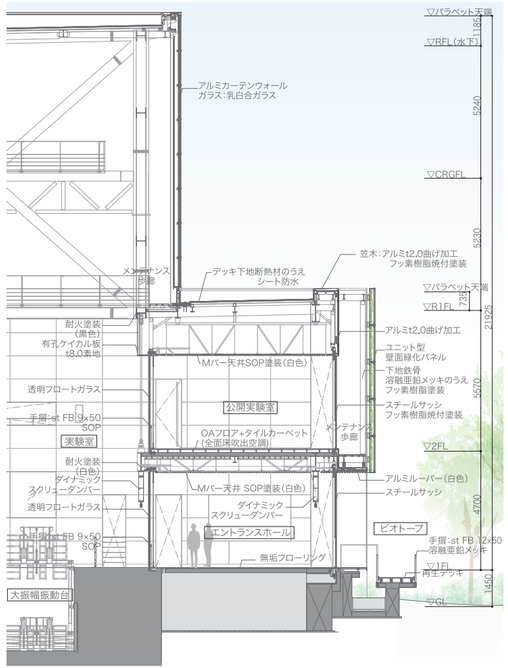
フルPC化によるレーモンドデザインの継承

既存キャンパスに受け継がれてきたレーモンドデザインをフルPCで継承。
コンクリート打放しのフィンとリブによる彫りの深いファサードは日射制御による省エネ効果をもたらすとともに、陰影による様々な表情を作り出す。
PC化することで大幅な工期短縮と労務削減、躯体精度の向上を実現した。



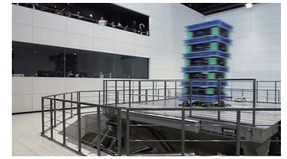






Shimizu Institute of Technology
Advanced Earthquake Engeneering Laboratory
清水建設技術研究所 先端地震防災研究棟

社会に開かれた“技術のショールーム”



新しい価値創造の場を目指して

先端地震防災研究棟は、大型振動台―愛称E-Beetle―と、大振幅振動台―愛称E-Spider―という、2台の振動台を収容する実験施設である。E-Beetleの加振台は世界中のあらゆる地震の揺れが再現可能である。

E-Spiderの加振台は最大振幅±150㎝（水平）の長周期地震動を再現することができる。

これらの振動台を活用し、構造部材はもとより、東日本大震災で多くの被害が報告された仕上げ材や設備の終局破壊プロセスを検証することにより、より高度な地震防災技術の開発が可能となる。

技術研究所の中央には、創造の余地としての緑豊かなビオトープがあり、先端地震防災研究棟はこの緑に溶け込むように計画した。来客や研究者などは、このビオトープ経由で研究棟にアクセスする。実験室内からもこの緑を享受できるよう、透明性の高い解放的な建築とすることで、社会に開かれた“技術のショールーム”を実現した。



大橋　一智




回転式制振ダンパー


3Dプリンターによるディテール検証


3DVR室での実部大投影によるスケール感確認

大スパン架構と床微振動制御

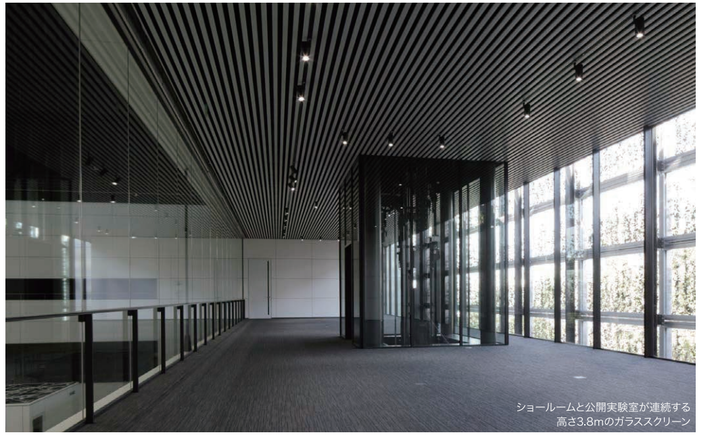
敷地中央のビオトープに向かって大きく開き透明性を最大限確保する構成とするため、南北方向を全てガラススクリーンとし、約27mスパンの鉄骨フレームを組んだ。

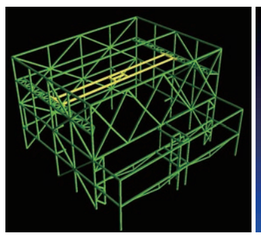
大スパン架構による床微振動の影響を低減するため、回転式制振ダンパー(ダイナミックスクリューダンパー)を張弦梁形式で設置した。ダンパー中央をくりぬき、振動を制御する錘(赤色着部分)を見せている。

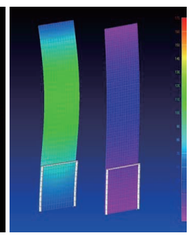
3Dプリンター・3DVRによる検証

張弦梁形式の見せるダンパーとするにあたり可能な限り部材をスリム化するスタディーを繰り返した。

当社3DVR室にて実部大投影によるスケール感の確認、3Dプリンタによるディテールの検証を実施し形状を決定した。

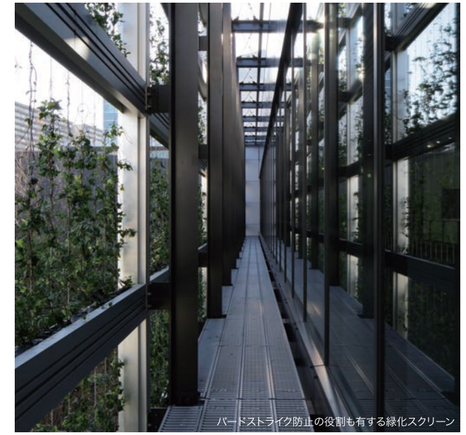

ショールームと公開実験室が連続する
高さ3.8mのガラススクリーン

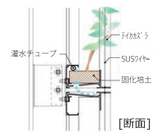




ガラススクリーンの振動解析

施設特有の与条件として、加振時には建屋自体が少なからず振動することが挙げられる。このような不利な条件にありながらも、実験室-ショールーム間の透明性を確保するため、上下2辺支持のガラススクリーンとした。特にスパンを飛ばして柔らかくなっている2階床について振動解析を実施したその結果、高さ3.8mのガラスは、そのままでは固有振動数が小さすぎ共振してしまうことが判明した。そこで、床面から900mmの位置にEPG構法を用いることで建屋の固有周期を避け、それ以上の剛性を持たせることで共振を防ぎガラススクリーンを実現した。


バードストライク防止の役割も有する緑化スクリーン



緑化フレーム　S:1/30

壁面緑化ユニット

敷地中央にはビオトープがあり、都心おける貴重な緑の空間であり、数多くの野鳥が飛来し、池で子育てをするカモなども確認されている。

本建築をこのビオトープに面して建設するにあたり、野鳥への配慮のため、低層部に壁面緑化を実施した。

今後広くとりいれられていくであろう壁面緑化を、より簡易に実現することができるよう、培土や潅水システムを組み込んだフレーム型のユニットを作成。

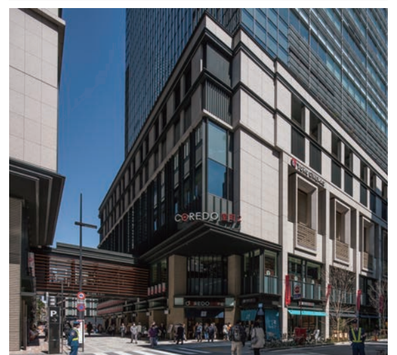
この型材は様々な大きさに対応可能で、新築から既存壁面への設置まで、どこでも設置可能である。

生育に必要な培土の検証、最適な植物の選定、風切り音の検証のための風洞実験を実施し、実現に至った。



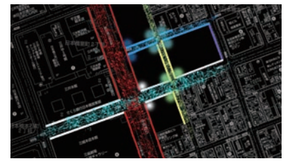






Nihonbashi Muromachi Higashi Area Project
日本橋室町東地区開発

街路空間の再生を図る面的開発



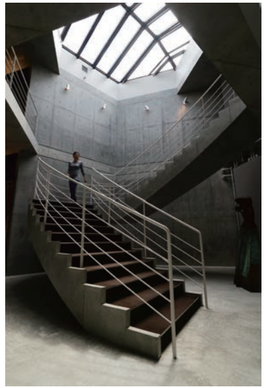
日本橋再生の一翼を担うプロジェクトとして5つの街区で都市再生特別地区の指定を受けた開発計画である。単独開発と異なり複数の街区をまとめて開発し、既存街路を残しながら、対面・連続する景観との関係性や集約された空地の形成を工夫し、魅力ある街路空間の再生に取り組んでいる。
このうち高層建築3棟と神社を含む4街区は、事業主を代表する三井不動産のもと日本設計と当社が設計を担当し、マスターアーキテクトとして圃紀彦氏をむかえ取り組むことで、一体で捉えた外装デザインや新たな歩行者ネットワークの形成、高品質の環境・設備計画を実現した 。
高層建築は従来からあるオフィス、商業に加え、最大1000人を収容可能な多目的ホール、9スクリーンのシネマコンプレックス、高規格の賃貸住宅といった新たな用途を複合し、地域の新しい魅力を発信する役割を果たす。歴史ある神社の再興は都心に緑豊かな景観を提供し、地域のシンボルとして存在する。

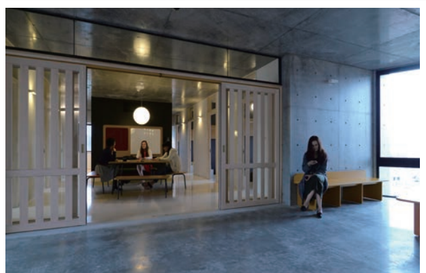


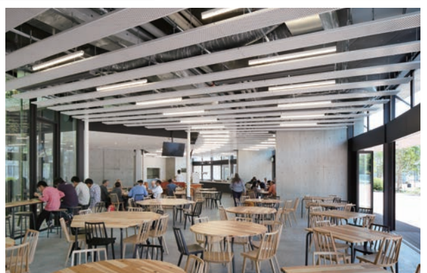
富田　文悟











YGU International College of Liberal Arts
山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟

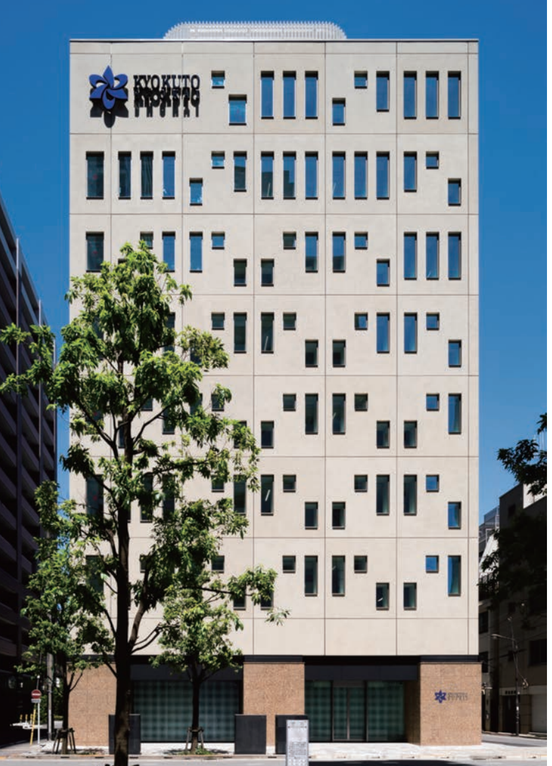
Global Residential Village

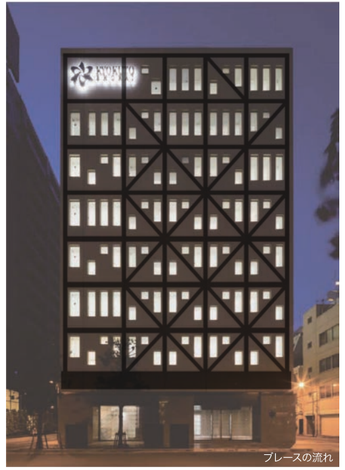


山梨学院大学のキャンパスは、塀を持たない文字通りのオープンキャンパスである。これまで15年以上、設計、あるいは施工を通じて、当社はキャンパスづくりをお手伝いさせていただいている。
伊東豊雄建築設計事務所との共同設計となる今回のプロジェクトでは、既存キャンパスとの繋がりを意識しつつも、少人数主体の授業、視認性の高い空間、生活の場所と学ぶ場所の一体化等の新学部が要請するプログラムを追求し、これまでのキャンパスとは異なる風景を生み出した。
建築を支えるRCの構造体を、内外ともにそのまま仕上とするこの建築の実現においては、膨大な量の手描きのスケッチと共に、3Dでの配筋要領の検証や現寸モックアップの確認など、短期間ながら非常に密度の高い検討が繰り返された。
山梨学院の経営・教授陣と私たちつくり手、各種工事を担当する職人さんまで、この建築に関わる方々皆のエネルギーがこの建築に注がれている。



佐藤　剛也



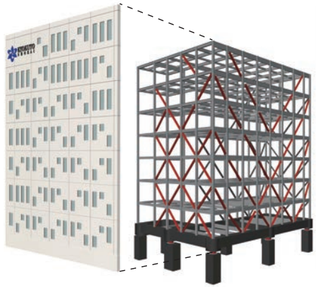


ブレースの流れ

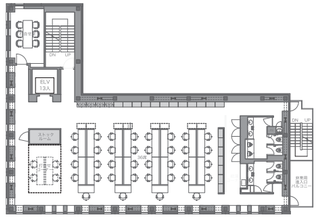


基準階内観

フレームワークとファサードデザイン



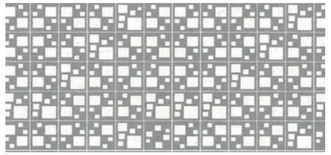
外周ブレース構造で構成したフレームをカラーコンクリートのPC板で覆い、構造と外装が一体となり、力の流れを表現するファサードとした。



平面図







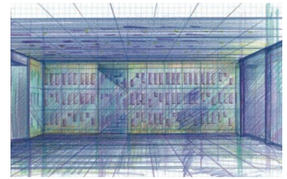
ファサードのパターンを重ね合わせてできた模様をガラス面に印刷し、エントランス空間に展開した。



KYOKUTO SHOKAI HEAD OFFICE

極東商会本社ビル

力の流れを表現したファサードデザイン



柱頭免震構造を採用し、構造体のフレームを外観のデザインに活かした本社ビルの計画。
免震層下部はRC造、上部は鉄骨ブレース構造を採用。ブレースの配置に合わせ窓形状を変えることで、外観に表情を持たせた。

開口と壁の関係は力の流れを表現し、極小化されたフレームの断面は壁中に納められ、柱型の出ないコラムレスオフィスを実現している。

外装にはPC版・カラーコンクリートを採用し、材料の持つ素材感・力強さをそのまま活かした独特な風合いが街並みにアクセントを与えている。



加登　剛司













隣接する街区・公園・水辺と連続する水辺と緑であふれる広大な公開空地
不整形な土地にトライスター型タワーを配置し、まとまりのある緑地を形成

Toyosu SKYZ ~Tower&Garden~
スカイズ タワー&ガーデン
ひとと共に成熟していくまちなみ





豊洲埠頭は第二次世界大戦以降の経済再建を目的に、主に鉄鋼・石炭の生産のために埋め立てによる整備が行われた場で、現在では"新豊洲"として官民が一体となったゼロからの街づくりが行われている。

新豊洲エリアは東京駅から5km圏にありながら、都心とは一線を画す豊かな緑と水辺に囲まれ、大きな空が広がっている。
本計画ではこのエリアでしか成し得ない、全方位に抜けた眺望と明るく開放的な居住空間、そしてまとまりのある親水の森を実現するため、「トライスター型タワー」を採用した。

敷地内にはその魅力を享受できる設えや共用施設が随所に張り巡らされて、屋上には遥かなる宇宙を身近に感じることのできる、天体観測ドームも設置されている。また、これら共用施設は隣接街区の住宅棟と共用部の相互利用を可能にし、コミュニティづくりの仕掛けも行った。

ここに暮らす人々が森や水辺、宇宙に親しみ、触れることにより街そのものが成長、成熟していく姿を日々楽しみにしている。



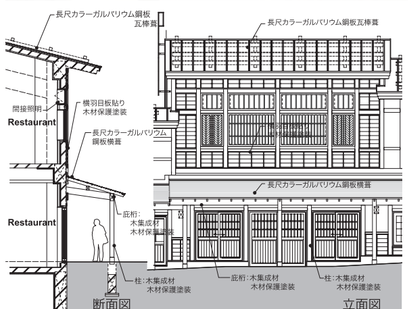
中村　徹

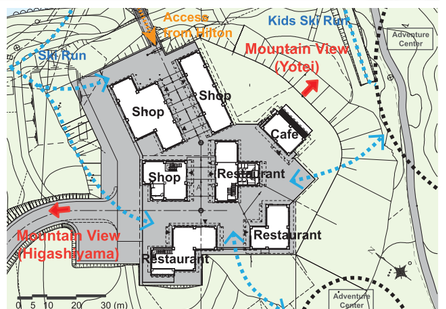


羊蹄山と町屋



雪景色の町屋





NISEKO VILLAGE　SHOPPING & DINING AREA
ニセコビレッジ　ショッピング&ダイニングエリア

雪国のなかの町屋



外国人観光客が急増し国際化が進むスキーリゾート『ニセコ』に開業した複合商業施設。周囲の自然に呼応するように軒が重なる外観と回遊できる町家の街並みがテーマ。積雪 3mに耐えるRC造と道産木材による木造を組み合わせ、耐久性を兼ね備えた本物志向のデザインをもつ商業空間を実現した。

現状地盤に沿った回遊性のある配置計画

山の麓の現状レベルに沿って通りを設定。回遊性を持たせるため、通路形状、建物配置を工夫した。各棟の形状にも変化を持たせた。

統一感と変化のある外観

軒高さ、格子のパターン、外壁の色、屋根の色、葺き方などは７mの間口ごとに微細な差異をつけ、単調にならない豊かな空間を目指した。

豪雪地での町家

構造体は鉄筋コンクリートとし、雁木による通路を設けた。外壁は北海道産トド松の下見板貼りを採用した。



高畠　教能

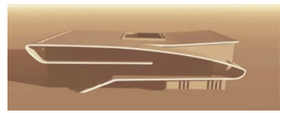








Astellas TAKAHAGI TCT BUILDING
アステラス高萩事業場ＴＣＴ棟
工場の中のターミナル



茨城県北部、太平洋の海岸線と多賀山地を臨む高台に建つこの建築は、グローバル企業アステラス製薬の原薬製造開発の拠点である高萩事業場における厚生施設兼スタッフ施設である。
ものづくりの中枢を担う従業員のケアとモチベーション向上に寄与すると同時に、企業のグローバル志向を表象するような建築を目指した。
徹底的に合理性を追求したシンプルな平面構成を取りながらも、立体としての建築はのびやかな曲線による構成とし、太平洋を背にした高台において世界に飛翔する船のようなダイナミズムを表現している。
３層が連続する開放的な内部空間は全従業員の動線の結節点であり、事業場内のターミナルとしての性格を担う。そこは、自然の風を取り込みながら、外部空間と内部空間が緩やかに連続し、業務に集中する研究者や従業員に安らぎとエンパワーメントのひとときを提供する場ともなっている。





大澤 博行・水島 一彦



フリーアクセスピット



工場内観



生産ライン



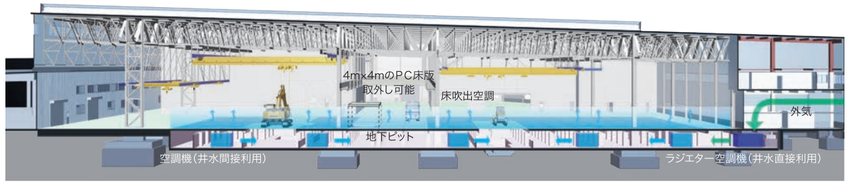
工場全景



施工風景



スマートフロアパネルユニット



断面イメージ

生産ラインの変更・更新・増設に
素早くフレキシブルに対応が可能



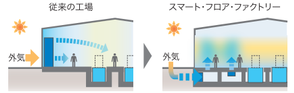
フロアパネルを組み替えることで対応

ユーティリティ設備による制約をなくし、
常に理想的な生産ラインレイアウトが可能



フリーアクセスピットに設備を集約配置
フリーアクセスピット部分に部品供給ラインも設置可能

最小限のエネルギーで作業域を効率的に空調し、
快適な作業環境を保つ

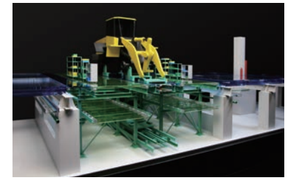


フリーアクセスピットから工場内の作業域を効率的に空調

KOMATSU AWAZU CONSTRUCTION MACHINE ASSEMBLY PLANT

コマツ粟津新組立工場

シミズ　スマート・フロア・ファクトリー



石川県小松市に位置する建設機械組立工場の増築計画である。「50年後を見据えたダントツ工場」という発注者のニーズに対し、「省エネルギー」と「生産性向上」をテーマに新しい工場の創出に挑戦した。
床は全面地下ピットと取外し可能なPC床版により「工場のOAフロア化」を図った。設備機器やユーティリティをピット内に配置することで生産エリアを拡大し、将来ラインの組み換え等に対し、柔軟に対応できるフレキシビリティを確保した。また豊富な伏流水と恵まれた自然環境を活かし、地下水・地中熱・自然光・自然通風など自然エネルギーを最大限取り入れ、従来工場に比べ大幅な省エネルギー化を実現した。
今後、本施設での成果を「シミズ　スマート・フロア・ファクトリー」と名付け、事業環境の変化に強い、次世代型ファクトリー実現の新技術として展開をする予定である。



加藤　栄一郎



B1階ギャラリーDより、B2階グランドギャラリー・アトリエ、B1階ギャラリーBを見る



北側外観 1階ピロティ・テラス、B1階サンクンガーデン



B1階ギャラリーD・アトリエ



B2階アトリエ



断面構成図

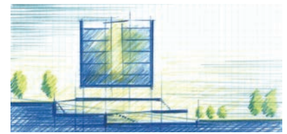


外観全景

Aichi Institute of Technology New Building No.2

愛知工業大学　新2号館

伝えたい「ものづくり」のカタチ



与条件は、建築学科・電気学科の研究室、建築学科の製図・アトリエスペースに加え、1階にロボット研究のショールームラボ＝ロボットミュージアムを配置すること。建築・電気・ロボット他の先生方等との打合せを重ねる中に見出した共通点は、一つは静かに集中できる落ち着いた雰囲気の研究環境への想い。もう一つは「ものづくり」におけるトライ&エラーの一部始終を見て、見られて、気付いて、試すことができる教育環境への想い。この2つを軸に設計を進めた。
1学年200人を超える学生が絶え間なく使用する地下1・2階の製図・アトリエスペースは、それが強く表れた空間である。敷地の傾斜を活かした断面構成により隅々にまで取り込まれた光と風のなか、屋内外にわたり重層的に廻らせた動線スペースは、いつでもステージやギャラリー、作業場に様相を変える。計10室のガラス張りのアトリエに囲まれたグランドギャラリーを中心に、見渡せばそこかしこで常に何かの製作中、プレゼン中。何に触発されたのだろうか？何か思いついたらしい学生たちが"たむろ"しはじめた。



佐藤　剛



外壁タイルの再現、サッシ更新、外壁疑石の保存修復



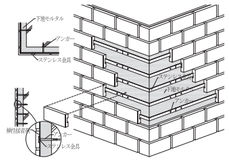
1F店舗：既存床の保存修復



手摺の復元



外壁疑石、照明の保存修復





外壁タイル：金物併用小口タイル弾性接着張り工法



7Fホール



MEIDI-YA KYOBASHI BUILDING
明治屋 京橋ビル（免震レトロフィット）

京橋の歴史と伝統を維持・継承



『曾禰達蔵中條精一郎建築事務所作品集』より抜粋

明治屋京橋ビルは、1933年（昭和8年）に竣工し、本社ビルとして従業員をはじめ、ストア、レストラン、地下鉄を利用する多くの人々に約80年使われ続けてきた京橋のシンボル的な建物である。
創建時の設計者はコンドルに学んだ曾禰達蔵で、震災復興期の建物として昭和初期の建築技術の高さを反映させた貴重な近代建築として中央区の歴史的建築物（第１号）に指定されている。

今回の免震レトロフィット改修では、設計JVを組み免震改修と文化財保存の専門スタッフを結集し、創建時の資料をもとに、外装・内装の保存・復元、地下１階での免震化、リノベーションを行い、建物価値を高め、安心・安全で快適な環境を形成した。
建物ユーザーのみならず、周辺のオフィスワーカー、このまちに訪れるすべての人々と次の世代へ京橋の歴史と伝統を維持・継承していく。

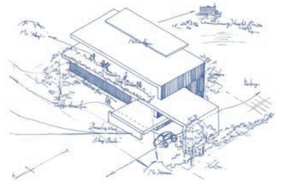


平賀　直樹

Maebashi Central Eye Clinic

医療法人社団 協友会 前橋中央眼科

教授の「おもい」を「かたち」に



眼科専門クリニックのプロジェクト。
群馬大学医学部附属病院 岸 章治教授の「おもい」を「かたち」にしたクリニック。

広い間口を生かした立体構成。見附1mのスラブにより水平性の強調、端部をL型構成としたこのスラブは敷地南側駐車場を繋ぐゲートともなる。
正面に組み込んだ、サイン壁兼用の防風壁は群馬特有の赤城おろし対策である。モノトーンの色調と、垣根を設けず、訪れる患者を向かい入れるよう配置した、植栽・照明は、近隣住民への圧迫感の緩和も図っている。
閉じた空間には眼科としての機能（暗室）を持たせ、開放部には、待合、回復室等の明るく「目にやさしい」環境を配置した。
3階事務エリアからは、赤城山、榛名山、群馬大学医学部附属病院とも繋がる眺望づくりに配慮している。



本多　延幸



北面　国体通り側



3階　テラス



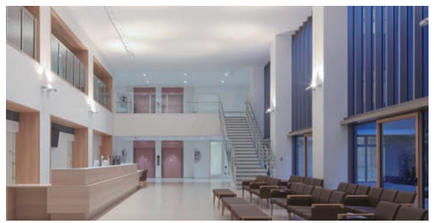
2階　手術待合

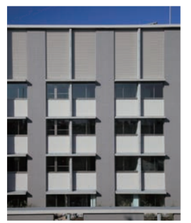


北面　国体通り西側









MATSUYAMA SHIMIN HOSPITAL

松山市民病院

松山の街に開く・人をつなぐ



松山市の中心に立地し、いつでも、どんな病でも受け入れてくれる地域医療の中核の施設である。
既存棟との間にある待合ホールは、街との接点であり、人と医療との接点として考えた。老若男女の病を抱えた人が違和感なく入ってきて気持ちよく待てる場所。中庭に緑を配し、柔らかい自然光を2層分の開口から取り入れた。松山のシンボルである道後温泉本館の格子をイメージした縦格子のカーテンウォールは、既存棟の外壁を隠しつつ、視線を中庭の木々に集中させる。待合の照明は天井からの反射光のみとし、来る人すべてをやさしく受け入れる空間を心がけた。
院内サインは坊ちゃん・マドンナ・道後温泉本館など、松山ゆかりのモチーフを配し、街にあふれる人々の誇りを取り込んだ。

2014　SDA賞入選





大石　茂・平田　郁子

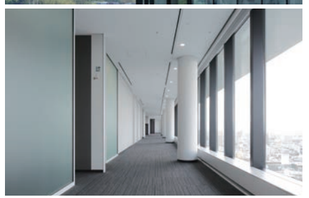


伊勢街道対岸から望む、手前から岩田本店棟、既存3代目本店、奥に丸之



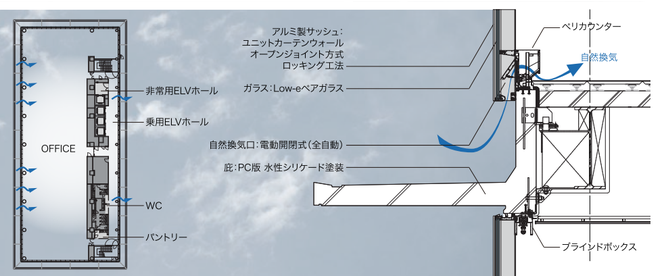
ヒューマンなスケールに空間を仕切る、川の波紋をイメージした天井計画





外壁から浮かせたコア

コアを外壁から離すことにより、共用部においても外部空間を享受できる計画とし、4面からの自然採光を可能にした。ペリカウンター部には突出し形式の換気窓により自然通風を確保、4回前後の換気回数を実現している。
4周に奥行き1.8mの庇を設置、日射による熱負荷を低減すると共に、ブラインド使用時間の短縮を図り、内部からの眺望を確保した。



Hyakugo Bank Head Office, IWATA
百五銀行　岩田本店棟

文化の継承



百五銀行と当社の出会いは明治42年竣工の鳥羽支店にまで遡る。その後の各支店や、大正12年の2代目本店、昭和43年の3代目本店と関係は継承され、今回計画はそれに続く4代目の本店である。

百五銀行は進取の精神に富んだ銀行であり、様々な文化を醸成しながら新規技術を開発・導入してきた。その精神に則り、今回計画においても積極的に基礎免震等の技術を導入し、地域中核銀行としての事業継続性に最大限配慮するとともに、1.8mの奥行きを持つPC庇の設置による日射負荷の低減、自然換気窓の設置による外気の導入と、先代本店でも享受していたこの地の豊かな外部空間・風景を継承する快適なオフィス空間が志向された。
同一敷地内に立つ先代本店は今後解体され、外構空間として整備されるが、同時建設された伊勢街道沿いに並ぶ丸之内本部棟とともに、この新しい本店棟が文化を継承・発展させていく場となることを期待している。



瀬尾　剛史



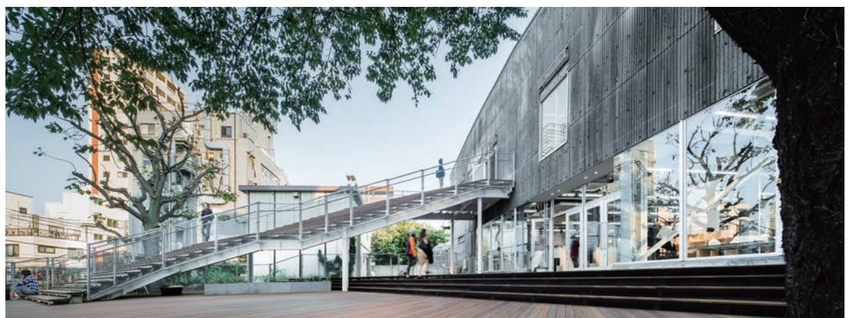




改修前



改修後



la kagu
ラカグ

街とつなげ、街にひらく



1969年竣工の当社設計施工の新潮社書庫を商業施設「la kagu」としてリノベーションした。デザイン監修者である隈研吾氏のコンセプトは街と倉庫をつなぐこと、そしていまある倉庫の雰囲気を残すことであった。各種法規の既存遡及について官庁と折衝し、特に構造や耐火関連については入念に条件整理を行い、具体的改修計画案を策定して隈氏のコンセプトを実現した。

倉庫の屋根は、建設当時の特徴でもある非常に繊細なトラス材で構成されているが、同部材と仕口を用いた補強や、コア機能を屋根に構造負荷をかけない建屋内建屋形式とすることで、既存の大屋根アーチの構造美・機能美を活かした計画とした。

街と倉庫をつなぐ外構のトポロジカルな大階段は、敷地形状と法的制約から生み出した必然の形状である。2階へと通じる階段の手摺には外構と同種のフェンスを加工して取付けるなど、外構と一体化したデザインで統一し、一連の大地としての表現に注力した。

2015　グッドデザイン賞

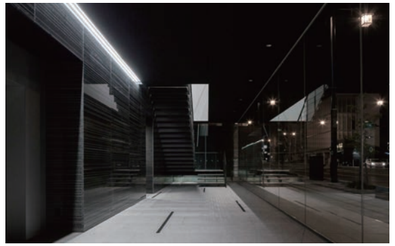


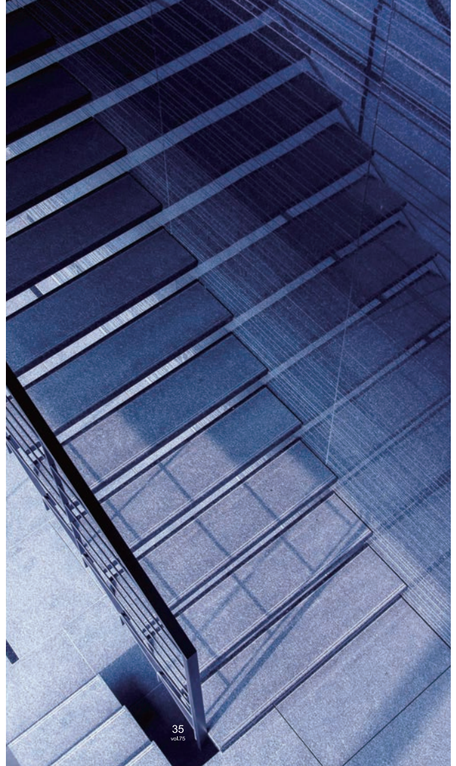
古株　友徳





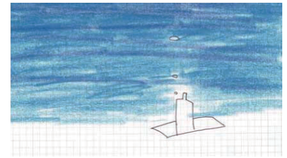






SANYO hanbai HIROSHIMA Office
三洋販売広島支社

海をめぐる冒険



広島は海が近く、夏はよく海水浴に出かける。
波の音を聞きながら釣り糸を垂れ、海に潜って魚を探し、砂浜を掘って貝を集める。
少しばかり冒険者になった気分だ。
海という環境の中にいると、僕らは積極的に感覚を研ぎ澄まし、そのような状態も含めて楽しんでいるように思う。

この建物は「海物語シリーズ」を主力とする遊戯台メーカーのショールームである。
他に類をみないヒットとなった同作も、パチンコに海の持つ冒険性を発見できて楽しい。

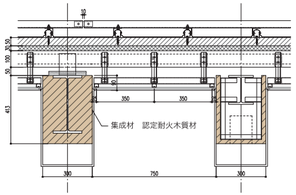
設計を進めるうち、人を積極的にさせる海のような建築を作りたいと思うようになった。

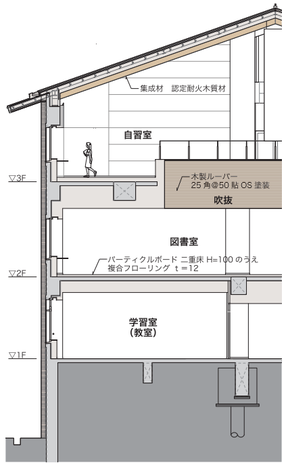
試打をし、商談を成立させるために何ができるか。どの台を導入するか迷った時、積極的に体が反応した冒険の記憶が後押しすることを願っている。

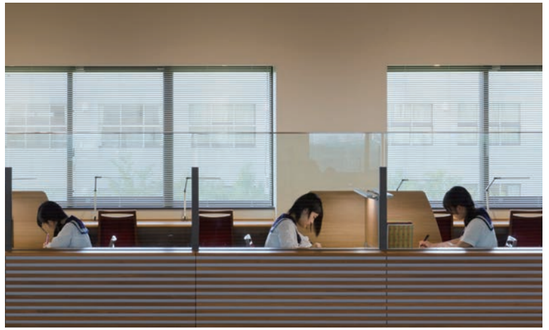
齋藤 祐哉・山田 矩胤・伊藤 祐一
(かわい)
末森 憲義















OTSUMA TAMA LIBRARY
大妻多摩中学高等学校図書館棟

森の中の図書館



5万冊を収蔵可能な開架書架を備えた図書室や200席を確保した自習室などの充実した学習環境の整備、そして学内外にアピールできる学校の新たなシンボルづくりを目指した図書館の計画。
メインとなる2階の図書室〜3階の自習室は中央の大きな吹抜を介してつなぐことで、様々な生徒の活動の様子が上から下から見える、一体感のある開放的な空間としている。
そしてこれらの空間を覆う屋根には、構造体となる鉄骨部材を集成材で耐火被覆した“認定耐火木質部材”と不燃処理した集成材で梁型を構成した化粧梁を組み合わせることで、柱のない22mのロングスパン架構を実現するとともに、木に包まれた、「森の中」というイメージを具現化した。
2階の図書室のフローリングや吹抜け周囲の木製ルーバー、手すり、各所のサインなど、インテリアを木で統一し、さらにこれらのコンセプトを家具にも展開することで木を用いた統一感のあるインテリアが実現している。





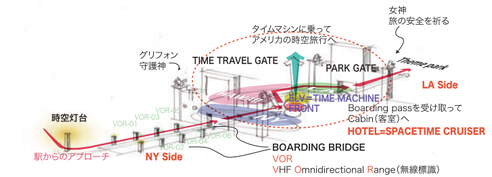
根岸 健一・佐野 穂高


エレベーター＝タイムマシン


客室階


タイムトラベルゲート


NYロビー：フロント



時空旅行をテーマとした動線計画概念図



UGT Project
UGT プロジェクト

ホテルは時空旅行のゲートウェイ



ゲストがテーマパークで体験した夢の余韻を、ホテルに滞在する間も持続させたい。
そのためには、エンターテイメント性が高く、人を楽しませるデザインが必要だった。

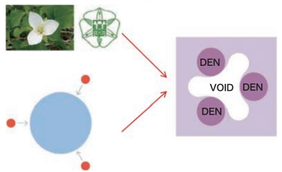
「Spacetime Cruiser－ホテルは時空旅行のゲートウェイ」がコンセプト。建物はスペースタイムクルーザー、時空旅行へいざなう巨大な装置というシナリオを作成した。
時空旅行をテーマにした外壁レリーフや、惑星の自転周期を示す「宇宙時計」など、すべてのデザインアイテムには、コンセプトに基づいたバックグラウンドストーリーが設定されている。

当ホテルは、他に類を見ない物語性を持ち、エリア随一の存在感と個性を持った建築として計画された。


山田　邦夫

Center for Food & Medical Innovation
北海道大学フード&メディカルイノベーション国際拠点

生命体をつなぐ有機的建築



キーワードは「イノベーション」。

施設設計に当たり、多様な人材の交流空間を充実させることが重要なポイントになった。

日建設計とコンソーシアムを組み、「食」と「医療」から連想される生命体をつなぐ「有機的建築」を目指し、デザインには円形や曲面を取り入れるとともに、自然を感じさせる木の素材感を交流空間に展開した。

校章にもなっている北大を象徴する花「オオバナノエンレイソウ」をモチーフとした吹抜に、「DEN」と呼ばれる小さな場所を組み合わせることで、有機的で強い存在感を持つ吹抜を実現しするとともに、研究者が発想の転換が出来る場となり、研究者同士のコミュニケーションも誘発する場所を実現した。



髙橋　信一



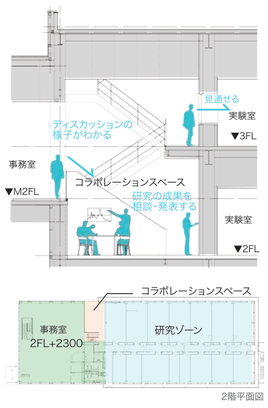




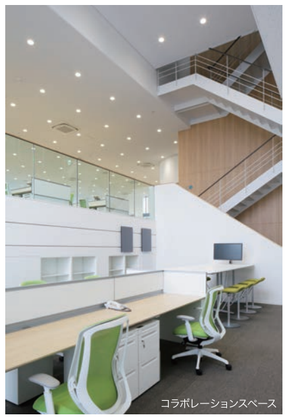












KUREHA Central Laboratory
株式会社クレハ　中央研究棟

コミュニケーションを誘発する研究所



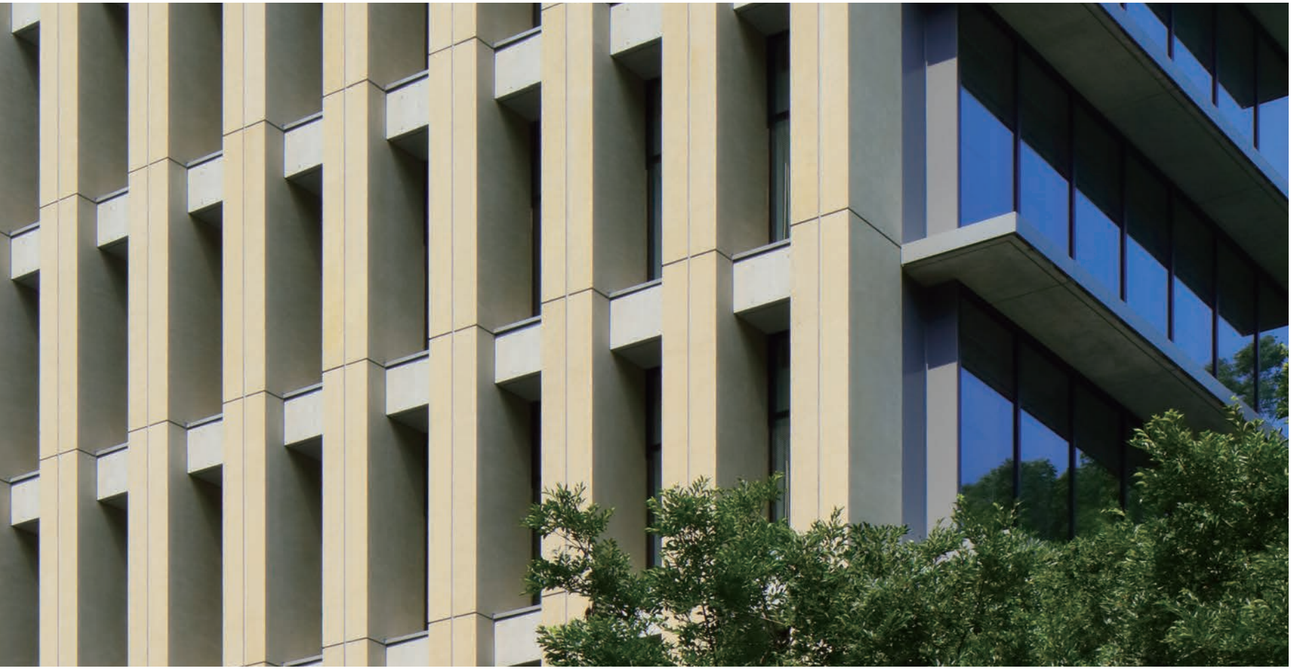
R&Dの中枢である中央研究棟の建替計画。
外観はシンプルで無駄のない明るい立面計画とし、将来増築にも対応した、事業所の顔となるデザインとした。

製品開発のスピードアップを目指し、実験フロアの中間階に居室を配したスキップフロアを採用し、実験ゾーンと居室の間にコラボレーションスペースを計画した。

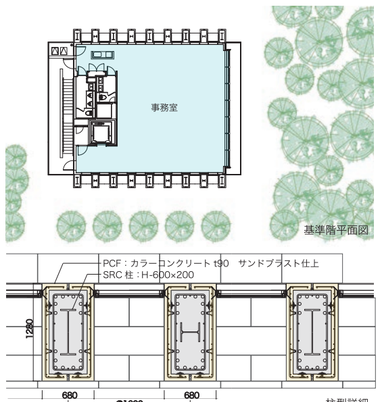
研究者の通過動線となる階段に接したコラボレーションスペースを設けることで、研究者同士のコミュニケーションを誘発し、豊かな空間が研究者の創造性を刺激し、新たな製品を生み出すきっかけになることを意図している。



河原　一也



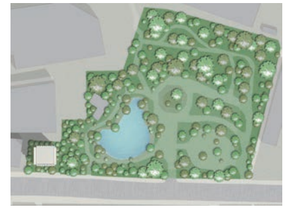






KKD BUILDING
KKDビル

緑の中のスモールオフィス



紀尾井町、清水谷公園に隣接して建つスモールオフィス。公園の豊かな緑を借景として取り込み、都心部にありながらも、外部と一体となった広がりのあるオフィス空間を目指した。

コアを北側に配置し、構造フレームを東西に集約することで、南側の公園に対して大きく開く構成とした。また、構造をアウトフレームとし、隣地へのプライバシーに配慮するとともに、整形無柱の開放的な執務空間を確保した。柱型はカラーコンクリートのPCF柱を採用し、素材がもつ表情、　自然な風合いをいかした重厚感のある建物を実現した。

この建物が時間の経過とともに、風景の一部になることを望む。





河島　淳・大旗　祐

ASANTE MIKKABI EDUCATIONAL CENTER
アサンテミッカビ日総合研修センター

自然をともに感じるコミュニケーション誘発の場



周辺には果樹園、水景等里山の豊かな自然環境が溢れる立地における既存研修センターの建替え計画である。

全ての共用部が自然を感じる、抜けの良いコミュニケーションの場となる配置・平面計画とし、人と自然の積極的なつながりを実現した。

研修棟と宿泊棟がコミュニティヴォイドを介して立体的につながる構成とし、施設内のすべての動線がコミュニティヴォイドに集約され、人とのつながり、偶発的な出会いを生む仕掛けとした。
コミュニティスペースの核となる空間として、光、風、緑、人の動き、視線が交差し、立体的に連続する躍動感ある空間とした。

シンボルツリーがある芝生広場から山並みへと視線が抜け、素材感溢れるコミュニティヴォイドは建物の象徴として浮かび上がる。

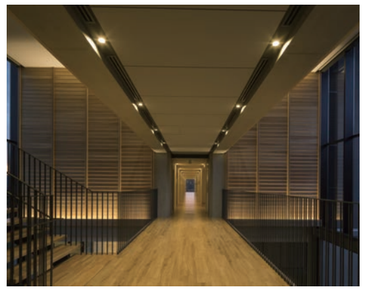
2015 年度 日本建築学会東海賞作品賞

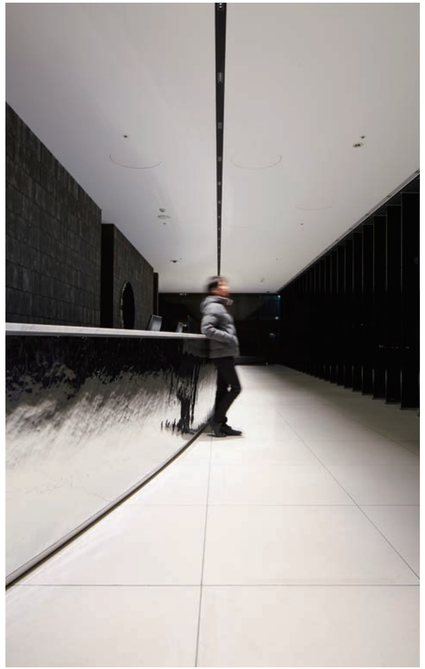


岡田　達史





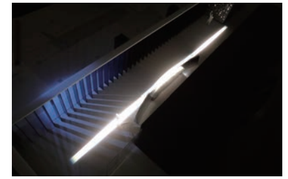






HAKATA GREEN HOTEL
博多グリーンホテル1号館

街のレイアウトからうまれたデザイン



空港通りに面した35M　のファサードを全面ガラスとして街に大きく開くことで上質な光にあふれるロビーがホテルの顔となった。

419室のゲストをお迎えするロングカウンターは日中はゲストが纏う色や木々の緑や光を受けて煌き、旅の楽しさや高揚感を演出する。

街が眠りにつく頃、ロビーはモノクロームへとトーンダウン、ゲストを穏やかな休息へと誘う。

街との関係を明確にし、自然光と人工光をすり合わせることで生まれたホテルデザイン。

JCD international
design award 2015





古賀 清和・井筒英理子















SEICHO-NO-IE HARAJYUKU PROJECT
生長の家　原宿本部跡地計画

自然と共生する都市の中の森づくり

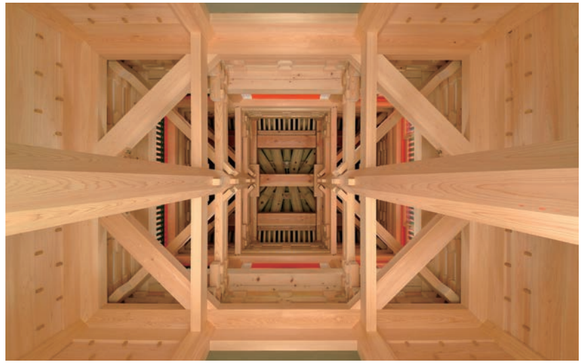


生長の家は、自然との調和と共生をめざし、八ヶ岳にゼロエネルギービルを作り本部を移転した。
そして、今回原宿の本部移転跡地を、森にする計画である。跡地の建物は塔だけ残し、他はすべて解体し森にする。
かつて「武蔵野」と呼ばれたこの土地本来の植生に基づいた樹木やカタクリなどの山野草を植え、数十年後に森を形成することを意図している。井戸からの水はビオトープに流し、ショウブやカキツバタを植え、野鳥やトンボなど多様な生物の集まる場所をつくった。回遊する歩道の道中には風景を切り取るフォリーを設け、自然と対峙できる場所を設けている。
岸田日出刀設計の塔は、森の自然力や塔の断面形状を生かしたゼロエネルギービルとして改修し、祈りと芸術展示施設として生まれ変わった。
竹下通りからほど近いこの地に、緑に囲まれて芸術に触れ、季節ごとに移り変わる豊かな自然を感じることのできるこの森は解放されており、一般の方が自由に入ることが可能である。



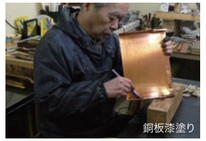


池内　匠・濱　久貴

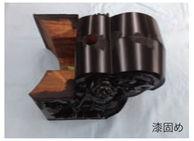


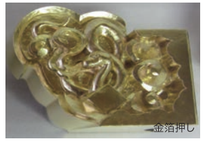




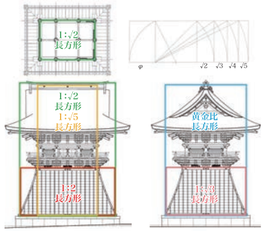






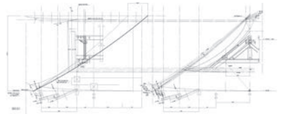






ANAHACHIMAN-Shrine KOROU
穴八幡宮　鼓楼

伝統の技と現代技術による伝統美の再現



境内では三棟目となる金物に依らない伝統木造建築である。腰袴を持つ特徴的な外観のバランスを追求し、各部の比例には黄金比やルート長方形を用いて全体の形を整え、3Dプリンターで模型を作るという新たな試みに挑戦し、プロポーションの検証を行った。
仕上には、現在では保存修理に用いられることはあっても、新築建物に使用されることはほぼ無い材料、工法を採用し伝統技術の伝承にも取組んだ。袴腰の仕上は、事前にモックアップで寸法や仕様を調整した上で、銅板一枚一枚に黒漆を焼付けたものを張り上げていった。
時を告げる鼓楼に相応しく十二支を題材とした木鼻は、檜に彫刻を施した上に、まず漆で塗固め、金箔を押し、その上に岩絵の具で彩色をしていった。こうした何段階もの工程を踏むことにより、劣化していく過程でも木地が現れず腐食しづらい仕様とすることができた。工程的には木材の調達・乾燥・加工期間を約3年間確保し天然乾燥を十分行うことで、より長寿命化を図っている。



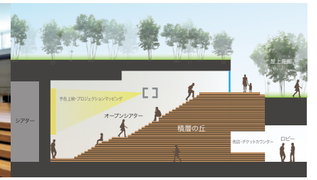
福本　敦子





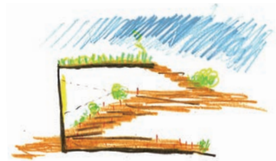






109CINEMAS FUTAKOTAMAGAWA
109シネマズ二子玉川

みんなが集まる「積層の丘」



二子玉川ライズ S.C内に計画された10スクリーンのシネマコンプレックス。

施設の中心に「積層の丘」を配置した。丘には予告上映やプロジェクションマッピング上映を行うオープンシアターや売店やチケットカウンターなど様々な機能が統合されている。

訪れた人はこの場所を目指して集まり、映画の上映前後の時間を思い思いに過ごす。また、ロビーから上階の屋上庭園までをつなぎ空と緑を室内へと取り込むと共に、施設全体の回遊性を高め、映画館を利用する人だけでなく誰でも使用することができる地域に開かれた劇場を目指した。

JCD international design award 2015
ベスト100+谷川じゅんじ賞
ASIA PACIFIC INTERIOR DESIGN AWARD
2015(香港) Excellence受賞

DSA賞入選
SDA賞入選



大久保 敏之・島田 雄太







space expansion in mokuzai.com
モクザイ.コム 増床計画

+38㎡の深度



mokuzai.comは57㎡の無垢材ショールーム。

木の手触りやぬくもり、力強さや効能を体感する
事で、生活の中に取り込むイメージを膨らませて
もらう事をめざして2004年にオープンした。

10年が経過し、素材が広く浸透したタイミングで
コンシューマー・インサイトを引き出す事、それに応
えていくビジネスツールの装備が必要と考えた。

+38㎡の増床計画でやるべきことは
深さを追求すること。

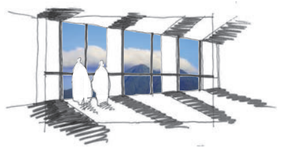
ストックヤードに入り込むような感覚は
何かを探しに来たユーザーの期待感を高め
グリッドの中でのやりとりはユーザー、スタッフ
双方にとってモチベーションやポテンシャルを
あげるチャンスに満ちている。

2015　グッドデザイン賞
JCD international design award
2015
銀賞・小阪竜賞



志村 美治・井筒 英理

CANON BUSINESS MACHINES (PHILIPPINES), INC. NEW FACTORY
キヤノン　フィリピン工場
光をデザインする

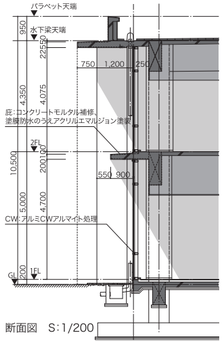


キヤノン株式会社にとってフィリピン初のレーザープリンター工場で、マニラから50km程の工業団地内にある。海外進出の拠点として現地の期待や注目に応え、ブランドイメージでもある「革新性」、「先端性」といった様々なメッセージを発信している。

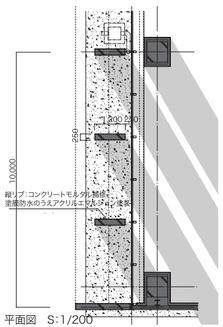
亜熱帯の強い日差しの中に、濃い陰影をつくることで、グローバル企業にふさわしい力強い存在感を与えている。また、名峰マキリング山を望む管理棟の外観を構成している縦リブと水平フィンによる白の繊細なコントラストは、時間により表情を変え、精緻な姿を視覚に写し込むと共に、省エネルギーを実現する環境に配慮した先進工場の象徴となっている。これらにより、常夏のフィリピンで働く従業員に、快適で誇らしい職場環境であることをイメージさせる。



黒河 英明



断面図　S:1/200



平面図　S:1/200





フィリピンの建設事情を考慮してPCを採用



マキリング山を望む



柔らかな外光が入り込む室内

GSK BANGALORE FACTORY PROJECT
GSKバンガロール工場計画
グローバル製薬企業の新築製薬工場

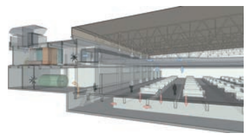
イギリスに本社を置く世界第6位（2012，2013，2014年）（2009年は第4位）の売上・規模を誇るグローバル製薬企業GlaxosmithkleinのインドBangalore国内単独の製薬工場としては約35年ぶりとなる新築案件の設計施工。日系製薬企業の国内外に於ける施設建設の実績を評価され、設計施工で受注した。言葉・風土も日本と大きく異なる環境の中、国内設計専門部署の支援のもと、持ち前の技術力を頼みに前向きの姿勢で意匠・構造・設備各メンバー一丸で顧客ニーズに応えつつ、鋭意設計を進めている。





TAL FABRIC MILL VIETNAM
TAL ファブリック ミル ベトナム
多国籍クライアント×多国籍設計チーム

Burberry，Ralph Laurenなどの高級ブランドを委託生産する国際的なアパレル企業の超大規模工場。イタリア人・香港人・ギリシャ人・ドイツ人からなる施主に対し、日本人・ベトナム人・フィリピン人のチームで対応。毎週行われるWeb会議を通じ、高い目標を共有。技術・文化・習慣の違いを乗り越え、他に例のないサスティナブルな施設を目指している。





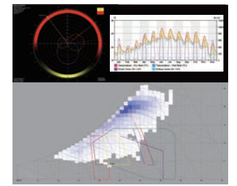
GITI TIRE CHESTER PROJECT
GITI TIRE チェスタープロジェクト
亜細亜から米国への水先案内人

「工場新築に不慣れなインドネシア華僑財閥のクライアント」と「決定事項のみ作図する米国設計事務所」の仲立ちとして、「米国タイヤ工場の設計与条件とりまとめとコンセプト設計図書の完成」が「タイヤ工場設計施工の実績があり、同一クライアントの高層ビル設計施工中の我々国際支店設計チーム」に発注された。
2ケ月という短期間ながら製本4冊分資料にわたる「与条件+コンセプト図面」をまとめ米国設計事務所へのINPUTを実施し、高い評価を得た。





FACTORIES OF NON-JAPANESE GLOBAL COMPANIES
非日系グローバル企業の生産施設
技術力により世界で評価されるデザイン・ビルド



各国のグローバル企業が、世界中に土地を求め生産施設を建設している。この大きな潮流に対し、我々はアジア経済の中心・シンガポールを活動拠点に、日本国内の設計チーム、海外各拠点と連携し、世界中を飛び回りながら取り組んでいる。
生産施設の設計における、高効率・サステナビリティ等の『デザインクオリティ』と、『スピード・柔軟な変更対応』という相反するニーズの並存は、日本のみならず世界共通であり、むしろその実行力は強力なアドバンテージとなる。
この状況において、我々は現業・技術部隊と協働し、大胆な技術提案を行う等により、ゼネコン設計部でこそ実現可能な高性能のデザインをオンタイムで提供。デザインビルドに馴染みのない非日系企業においても、着実にプロジェクトを増やし、クライアントの信頼を獲得している。



坂東　卓

Next Stage NEW SUNPLAZA

区役所・サンプラザ地区 事業構築パートナー選定プロポーザル

街区再編による新たな人の流れの創出



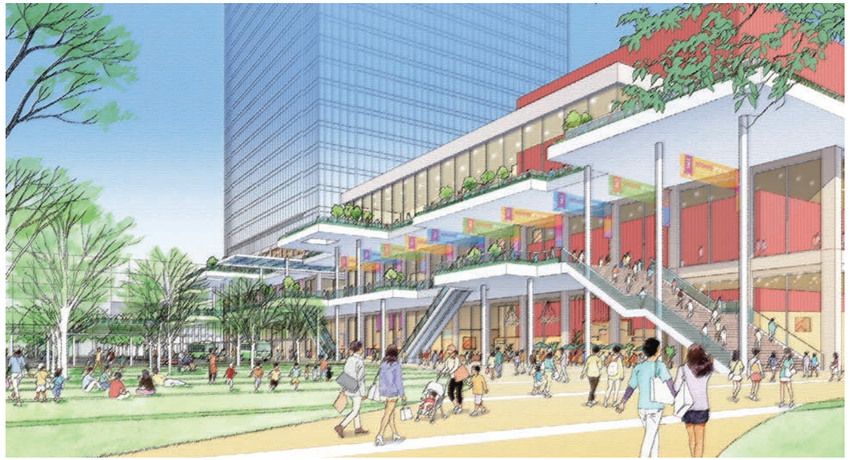
区役所・サンプラザ地区再整備に係る、中野区との事業構築パートナーの公募にあたり、複数企業とコンソーシアムを組成し、選定された。実績豊富な構成企業との連携による、事業支援体制と、「街区再編」によるまちづくりの視点が評価された。

本プロジェクトでは、事業性の向上と、既存の周辺エリアとの連携による新たな人の流れを創出するという、両者のバランスのとれた提案が求められた。その実現のため、既存の敷地形状にとらわれない「街区再編」を提案し、収益ビルの容積確保と、周辺エリアと連携する「交流広場」の確保を提案した。

敷地内に確保する「交流広場」が、地域生活者と新たな来訪者が集い、交流し、賑わいあふれる空間を創り出し、2階レベルに整備するデッキ空間「サンテラス」が、まちと駅と導入機能をつなげる役割を果たす。今回の提案により、『人・文化・情報・産業の源泉となる活動拠点』が、新たに創出される事を目指している。



吉田 祐二・橋本　崇・秋山 茂
田村 俊和・宮前 和也



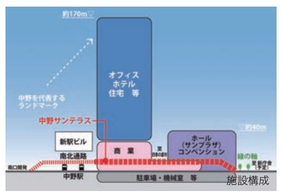
人の賑わいを創り出す「交流広場」



2階レベルで駅と直結する「サンテラス」



鳥瞰イメージ



総設構成

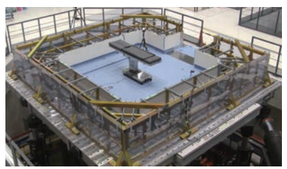
安震フロア

シミズ安震フロアは、薄い鋼板2枚を重ねただけのシンプルな構造の「部分床免震システム」で、地震時には上部の鋼板がスライドすることで高い免震効果を発揮する。大地震時における手術台や医療機器の移動・転倒を防止し、地震直後から医療行為の継続を可能にすることを目的としている。

ゆっくり揺れるため、手術台の転倒・移動が生じない



シミズ安震フロア断面構成



大型振動台の上に設置された安震フロア（中央に手術台）



シミズ安震フロアの構成

天井の耐震対策

東日本大震災をはじめとして過去の大地震で、天井の脱落による被害が多数発生した。これを教訓に、地震時において天井の脱落を防止し機能維持を図るための対策が急務となっている。災害時の事業継続を目標に、新設・既存改修にかかわらず、天井の耐震対策の要求に対応できるよう調査・診断・対策提案を推進するとともに当社独自の新しい技術の開発を行い、案件適用を図っていく。

左官仕上天井の耐震対策工法

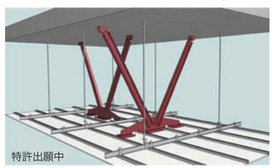
歴史的建物のホールにある石膏装飾のついた漆喰仕上天井の落下防止・補強計画である。歴史的価値継承の要求から既存の材料・外観を変えることなく来館者の安全を確保できる補強計画とした。実大試験体による実証実験を経て要求性能を満足することを確認している。

リニアブレース工法

天井ボード材に斜め部材を直接固定することにより剛な天井とし、国交省告示に規定する特定天井の性能に合致した耐震化工法である。部品点数を減らすことで力学的に明快で合理的な工法が可能となった。日本建築センターの一般評定を取得し、ぶどう棚直貼りに代わる優位技術として案件適用を推進していく。



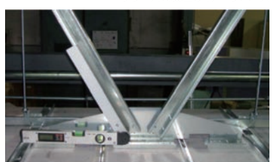
石膏レリーフも模擬した実大加振試験体



ブレース材設置のイメージパース



ラスモルタル下地漆喰塗仕上の天井

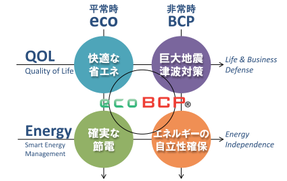


加振実験用の実大試験体（部分）

ecoBCP

ecoBCPへの取り組み

確実な実証による「安全・安心」技術の開発・商品化



今後30年間の発生確率が70%と推定される首都直下地震や南海トラフを震源とする地震は予知と被害予測が極めて困難である。社会システムが複雑化する中、巨大地震による被害は多様なものとなりその対策は喫緊の重要課題となっている。

開発する新技術は提案を通じて案件適用し、その成果を開発にフィードバックすることにより、社会に貢献できる技術として汎用化し広く活用できるようにすることを目的としている。

これらの技術は、振動実験や数値解析による確実な実証により、「安全・安心」を実現する「確かな技術」として確立される。



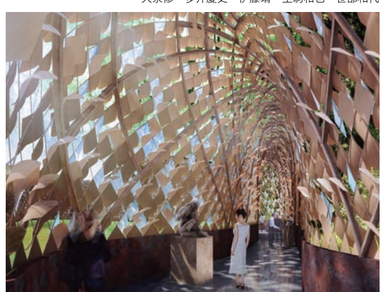
北村 佳久・松原 正芳

COMPETITION

2015年度日本建築学会技術部門設計競技：佳作
「Dancing Leaves -ひかりで呼吸する建築のかたち」

課題は「自然光を積極的に利用したサステナブル建築のかたち」。
日々刻々と変わる環境の複雑さ。それによって生じる予期せぬ状況との出会い。人工と自然の間にある建築の「かたち」。
自然界には膨大な時間のなかで培われてきた多くの知恵や工夫があふれている。松かさは自然光に呼応して鱗を開き、その姿を一変させる。それは晴れた日の乾いた軽い種をより遠くへ飛ばし、種を残すための合理的なかたちでもある。
光に呼応する植物のように、自然光によってそのかたちを変化させ、環境に適応する新しい建築を提案する。

及川直哉　猪股悠　一万田知宏　丸山亮介　細川良太　油野球子
大泉修　多井慶史　伊藤靖　生駒和也　笹部和代







パイウッドパネル実証実験

COMPETITION

2015年度第二回構造デザインコンペティション：最優秀賞
「ぼくらの橋　〜つながる気持ちがつくりカケハシ〜」

テーマは「往来・停泊・構造」。
従来の構造形式の応用では無く、新たな構造デザインの可能性として誰でも簡単に作る事ができる構造体を提案した。近年、SNSが発達し、急速にオープンソース化が広がっている。人々は多くの情報を手に入れ、自ら様々なものを作り、社会へ発信する事が可能になった。そこで"与えられるインフラ"の時代から"使いたい人が作る、プライベートインフラ"としてソーシャルなデザイン手法を取り入れ、身近な材料とドローンを使い誰でも作れる橋の提案を行った。

稲垣啓輔　木内佑輔　西野安香　鈴木康二郎　加藤直樹
谷口尚範　牧住敏幸









COMPETITION

Architecture in Perspective 30周年記念 アメリカ建築パース国際コンペ：最優秀賞
「Study-02」

世界中の建築家、レンダラーや日本のゼネコン、設計会社等、応募総数約500点からの最優秀賞受賞となり日本人初の快挙となった。
2015年10月にカナダトロントで行われた受賞式・カンファレンスに出席し、世界の著名なレンダラーや建築家と交流を図りパースについての高い評価を得た。
今回受賞したCGは、ある水族館を訪れた際の実体験がもとになっている。光の揺らめきと床に映り込む水槽内の情景を強調し、水中にいるような空間を演出。正面の構図で２人の子供に求心力を持たせ、この絵の中の主人公とした。それにより２人の感情の中の風景だということを表現し、見る者の五感に訴える作品に仕上げた。

渡邉美土里







stream DEW WORKS

stream DEW委員会では、メンバーの自由かつ主体的な提案によりワークショップ、建築の視察、展示会やドキュメントの作成など様々な活動を行っている。

2010年度 ツリーハウスワークショップ
stream DEW・清水建設北海道支店・北海道大学の産学協働プロジェクトとして、企画・設計・建設を一貫して行うワークショップを実施した。北海道大学構内や札幌芸術の森に、学生や一般参加の子どもたちと共にツリーハウスを製作した。

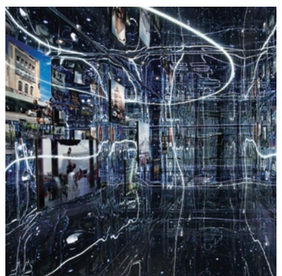


2011年度 清水建設建築作品展「stream DEW 2011」
当社東京木工場にて建築作品展「stream DEW」を開催した。当社が携わってきた建物に関する展示に加え、設計者による建築作品説明会、社内設計コンペの公開２次審査、東京木工場見学ツアーも行われた。



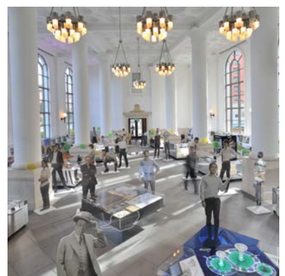


2012年度 コンテナ展「東京万華鏡」
東京デザイナーズウィークのコンテナ展に出展した。東京という都市を無限に広がる万華鏡の手法を用いて表現。その中にこれまで清水建設が生み出した建築が、人々の生活に溶け込み、どのようなワンシーンを描いているのかを示す写真を展示した。
2013年 DSA 空間デザイン優秀賞





2013年度 清水建設建築作品展「ものづくりの風景」
清水組設計部出身の銀行建築の大家、西村好時設計による、旧第一銀行横浜支店（現YCC　横浜創造センター）にて現在・過去・未来を軸とした建築作品展を開催した。会期中には、「環境建築のトップランナーを目指して」をテーマに、近作の紹介＋トークセッションを行った。

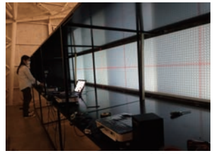


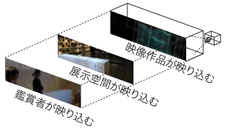


2014年度 「みえないものを設計する」— 清水建設6つのプロジェクト —

建築をつくるということは「カタチあるもの」をつくりだすことだが、空気や熱、人の動きや力などの「みえないもの」が建築をカタチづくる大切なファクターとなる。本展では清水建設の6件のプロジェクトを事例に、そうした「みえないもの」を最先端のシミュレーション技術を用いて可視化し、設計する手法を紹介した。「みえないもの」を読み、操作することで、環境の持つ可能性を発現させる。そのための高度な技術とデザインの関係を、映像を通じて体感できる展示を行った。







風景の中に浮かび上がる映像展示

ハーフミラーの鏡面フィルムのスクリーンにリアプロジェクションにより映像を写し出す手法を採用した。映し出された建築の映像の中に、まわりの風景とともに自分が映り込み、建築に入り込むことで、映像を見るだけではなく、空間として体感できる展示を行った。





書籍の発行

展示会に合わせ、書籍「みえないものを設計する」を発行した。会場で配布し、展示している6プロジェクトの設計意図、設計者へのインタビュー、現場でのドキュメントを紹介した。





トークセッション

豊田啓介氏（建築家/noizパートナー）、吉田博則氏（東大DFL）をゲストパネリストに迎え、「これからの設計」をテーマにトークセッションを行った。

2015 グッドデザイン賞 ・ 2015 DSA空間デザイン賞入選

2015年度 活動テーマ「 フィールドワーク + キュレーション 」

様々な情報を容易に入手できる昨今、大切な情報を自ら確認・精査する力、自らの経験と知恵を使って整理・編集し、新たな意味や価値を見出す事が求められていると考えられる。
今一度、泥臭く貪欲に、今必要なものを追い求め、他者との対話を通じて、アイデアの良い連鎖が起こるような機会の創出を目指して活動している。







『DEW通信』

全国設計・プロポーザル系 各部署にスポットを当て、部内アイデアコンペなど独自の活動を紹介する。





「shimz plot」・「おたずね通信」

設計プロセス・設計者に着目したプロジェクト紹介。設計者の悩み・発見を「現在進行形」で伝える。

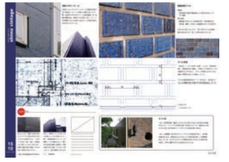




「shimz vintage」

当社設計施工案件の作品紹介。DEWメンバーが建物を見学し、自らの言葉・スケッチで分析する。





委員長　糀谷　正和
副委員長　古株　友徳
委員　磯和　孝史
江田　正志
河原　一也
小土井　元規
後藤　なつみ
小林　卓照
眞田　瑞穂
島田　雄太
瀧澤　祐介
田代　直人
田中　裕伸
堤　裕樹
永石　貴義
中村　雅樹
西野　安香
坂東　卓
日野　哲也
福西　泰博
宮前　和也
事務局　吉田　郁夫

stream DEW

「潮流=ストリーム（stream）の源流は雫（DEW）にある」。
「個々人の創造性発露が社員相互の啓発・情報共有の源であり、それが大きな流れとなる」という意味をこめて、2007 年に命名。



南山大学名古屋キャンパスS棟 *1,2,3

建築主　：学校法人南山学園
主要用途：大学
敷地面積：　16,966㎡
建築面積：　5,332㎡
延床面積：　18,872㎡
構　造　：RC造・一部SRC造・S造
規　模　：地上7階・地下1階
竣工年　：2015年
所在地　：愛知県名古屋市昭和区八雲町74



スカイズ タワー&ガーデン *1

建築主　：三井不動産レジデンシャル株式会社・東京建物株式会社
　　三菱地所レジデンス株式会社・東急不動産株式会社
　　住友不動産株式会社・野村不動産株式会社
主要用途：共同住宅
敷地面積：　21,242.52㎡
建築面積：　5,761.65㎡
延床面積：　141,118.64㎡
構　造　：RC造・一部S造
規　模　：地上44階・地下2階
竣工年　：2015年
所在地　：東京都江東区豊洲6-2-31



明治屋京橋ビル（免震レトロフィット） *1

建築主　：京橋二丁目西地区市街地再開発組合（株式会社 明治屋）
主要用途：店舗・事務所
敷地面積：　7,994.44㎡
建築面積：　553.22㎡
延床面積：　5,477.86㎡
構　造　：SRC造
規　模　：地上8階・地下2階
竣工年　：2015年（免震レトロフィット改修）
所在地　：東京都中央区京橋2-2-8



三洋販売広島支社 *1

建築主　：株式会社三洋販売
主要用途：事務所
敷地面積：　815.05㎡
建築面積：　436.24㎡
延床面積：　833.92㎡
構　造　：S造
規　模　：地上2階
竣工年　：2015年
所在地　：広島県広島市南区段原4-22-4



KKDビル

建築主　：清水建設株式会社
主要用途：事務所・サービス店舗・物販
敷地面積：　471.20㎡
建築面積：　188.11㎡
延床面積：　1,471.24㎡
構　造　：SRC造・一部S造
規　模　：地上9階
竣工年　：2015年
所在地　：東京都千代田区紀尾井町3-1



109シネマズ二子玉川

建築主　：清水建設株式会社
主要用途：シネマコンプレックス
延床面積：　6,289㎡
構　造　：RC造
竣工年　：2015年
所在地　：二子玉川ライズショッピングセンター



清水建設技術研究所 *4
先端地震防災研究棟

建築主　：清水建設株式会社
主要用途：研究所
敷地面積：　21,135.14㎡
建築面積：　1,157.72㎡
延床面積：　2,181.40㎡
構　造　：S造
規　模　：地上2階・地下2階
竣工年　：2015年
所在地　：東京都江東区越中島3-10



ニセコビレッジ ショッピング&ダイニングエリア

建築主　：北海道虻田郡ニセコ町東山温泉ニセコビレッジ株式会社
主要用途：飲食・店舗
敷地面積：　32,991.96㎡
建築面積：　1,722.07㎡
延床面積：　1,829.64㎡
構　造　：RC造・一部木造
規　模　：地上2階・地下1階
竣工年　：2014年
所在地　：北海道虻田郡ニセコ町曽我



医療法人社団 協友会 前橋中央眼科 *2

建築主　：医療法人社団 協友会
主要用途：眼科クリニック
敷地面積：　1,766.44㎡
建築面積：　942.35㎡
延床面積：　1,976.33㎡
構　造　：S造
規　模　：地上3階
竣工年　：2014年
所在地　：群馬県前橋市下小出町2-54-5



大妻多摩中学高等学校図書館棟

建築主　：学校法人大妻学院
主要用途：学校（図書館）
敷地面積：　102,676.00㎡
建築面積：　1,103.78㎡
延床面積：　2,717.85㎡
構　造　：RC造・一部S造
規　模　：地上3階
竣工年　：2015年
所在地　：東京都多摩市唐木田2-7-1



アサンテ三ヶ日総合研修センター *3

建築主　：株式会社アサンテ
主要用途：研修所
敷地面積：　7,772.98㎡
建築面積：　1,265.80㎡
延床面積：　2,985.70㎡
構　造　：RC造
規　模　：地上3階
竣工年　：2015年
所在地　：静岡県浜松市北区三ヶ日町都筑3500-5,3489-4



モクザイ.コム 増床計画

建築主　：株式会社マルホン
主要用途：ショールーム
敷地面積：　38㎡
竣工年　：2014年
所在地　：東京都新宿区西新宿3-7-1
　　新宿パークタワーリビングデザインセンターOZONE6F



日本橋室町東地区開発 *1,2

建築主　：三井不動産株式会社（代表建築主）、他９社、３名
主要用途：事務所・飲食店・物販店舗・劇場・映画館・共同住宅・神社
敷地面積：　8,651.35㎡
建築面積：　7,882.36㎡
延床面積：　132,963.93㎡
構　造　：S造・SRC造・RC造
規　模　：地上22階・地下4階・塔屋2階（室町古河三井ビルディング）
竣工年　：2014年（全街区完成）
所在地　：東京都中央区日本橋室町2-2-1他



アステラス高槻事業場 TCT棟

建築主　：アステラス製薬株式会社高槻事業場
主要用途：厚生棟
敷地面積：　136,676.35㎡
建築面積：　2,060.65㎡
延床面積：　4,637.61㎡
構　造　：S 造
規　模　：地上3階
竣工年　：2014年
所在地　：茨城県高萩市赤浜160-2



松山市民病院 *1

建築主　：一般財団法人 永頼会
主要用途：病院
敷地面積：　6,786.09㎡
建築面積：　4,715.31㎡（今回増築 2,542.85㎡）
延床面積：　25,602.47㎡（今回増築12,267.81㎡）
構　造　：RC造・一部S造
規　模　：地上8階
竣工年　：2015年
所在地　：愛媛県松山市大手町2-6-5



UGTプロジェクト *1

建築主　：特定目的会社ワンダー・トリアングルム
主要用途：ホテル
敷地面積：　6,647.76㎡
建築面積：　5,847.10㎡
延床面積：　45,789.71㎡
構　造　：S造
規　模　：地上28階
竣工年　：2015年
所在地　：大阪府大阪市此花区島屋6-2-52



博多グリーンホテル1号館 *1,2

建築主　：菊谷本店
主要用途：ホテル
敷地面積：　1,258.58㎡
建築面積：　1,001.21㎡
延床面積：　9,698.86㎡
構　造　：S造
規　模　：地上12階・地下1階
竣工年　：2015年
所在地　：福岡県福岡市博多区博多駅中央街4-4



キヤノン フィリピン工場

建築主　：キヤノン株式会社
主要用途：工場
敷地面積：　約300,000㎡
建築面積：　約71,400㎡
延床面積：　約83,500㎡
構　造　：S造・一部RC造
規　模　：地上2階
竣工年　：2014年
所在地　：フィリピン国バタンガス州FPIP工業団地内



山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟 *1,3

建築主　：学校法人山梨学院
主要用途：大学・寄宿舎
敷地面積：　7,484.54㎡
建築面積：　2,962.60㎡
延床面積：　9,972.16㎡
構　造　：RC造・一部S造
規　模　：地上7階
竣工年　：2015年
所在地　：山梨県甲府市酒折2-7-17



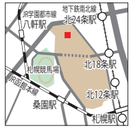
コマツ粟津新組立工場

建築主　：コマツ（株式会社小松製作所）
主要用途：建設機械製造工場
敷地面積：　720,228.97㎡
建築面積：　27,873.97㎡
延床面積：　32,219.46㎡
構　造　：S 造
規　模　：地上2階
竣工年　：2014年
所在地　：石川県小松市符津町ツ23



百五銀行 岩田本店棟 *2

建築主　：株式会社百五銀行
主要用途：事務所・銀行
敷地面積：　5,146.00㎡
建築面積：　2,132.32㎡
延床面積：　19,156.10㎡
構　造　：S造（柱一部CFT造）・一部SRC造
規　模　：地上13階
竣工年　：2015年
所在地　：三重県津市岩田21-27



北海道大学フード&
メディカルイノベーション国際拠点 *1

建築主　：北海道大学
主要用途：研究所
敷地面積：　1,735,281.82㎡
建築面積：　2,966.74㎡
延床面積：　10,075.74㎡
構　造　：S造
規　模　：地上6階
竣工年　：2015年
所在地　：北海道札幌市北区北21条西11



生長の家 原宿本部跡地計画 *2

建築主　：宗教法人生長の家
主要用途：森、展示施設
敷地面積：　4,349.67㎡
建築面積：　493.43㎡
延床面積：　1,296.47㎡
構　造　：RC造・一部S造
規　模　：地上5階・地下1階
竣工年　：2014年
所在地　：東京都渋谷区神宮前 1 -23-30



極東商会本社ビル

建築主　：株式会社極東商会
主要用途：事務所
敷地面積：　398.52㎡
建築面積：　323.61㎡
延床面積：　2,470.41㎡
構　造　：RC造・SRC造・S造
規　模　：地上8階
竣工年　：2015年
所在地　：東京都千代田区外神田4-10-6

愛知工業大学 新2号館

建築主　：学校法人名古屋電気学園
主要用途：大学校舎
敷地面積：　512,505.90㎡
建築面積：　1,789.65㎡
延床面積：　8,701.61㎡
構　造　：S造・一部SRC造
規　模　：地上6階・地下2階
竣工年　：2014年
所在地　：愛知県豊田市八草町八千草1247-1



la kagu *1

建築主　：株式会社新潮社
主要用途：物販店舗
敷地面積：　1,283.34㎡
建築面積：　626.93㎡
延床面積：　962.45㎡
構　造　：S造
規　模　：地上2階
竣工年　：2014年
所在地　：東京都新宿区矢来町67



株式会社クレハ 中央研究棟

建築主　：株式会社クレハ生産本部いわき事業所
主要用途：研究所
敷地面積：　882,932.81㎡
建築面積：　1,561.35㎡
延床面積：　4,341.92㎡
構　造　：S造
規　模　：地上4階
竣工年　：2015年
所在地　：福島県いわき市錦町落合16他13筆



穴八幡宮 鼓楼

建築主　：宗教法人穴八幡宮
主要用途：神社
敷地面積：　10,867.81㎡
建築面積：　37.03㎡
延床面積：　37.03㎡
構　造　：木造
規　模　：地上1階
竣工年　：2015年
所在地　：東京都新宿区西早稲田2-1-11

*1 他社協働（設計：清水建設）

南山大学名古屋キャンパスS棟
ライティングM

日本橋室町東地区開発
株式会社日本設計
團紀彦建築事務所

山梨学院大学国際リベラルアーツ学部棟
建築：伊東豊雄建築設計事務所
構造：佐々木睦朗構造計画研究所
サイン：MARUYAMA DESIGN
カーテン：安東陽子デザイン
音響：永田音響設計

スカイズ タワー & ガーデン
外観デザイン監修・ランドスケープデザイン監修・インテリアデザイン監修：
ウェルカムエントランス・コミュニティハウス
光井 純 アンド アソシエーツ建築設計事務所
生態系調査・植栽計画・監修・植栽管理指導：愛植物設計事務所

明治屋京橋ビル（免震レトロフィット）
U.A 建築研究室（再開発棟の設計者は日建設計）

松山市民病院
基本設計：Aキューブ建築設計事務所 河合隆文

la kagu
デザイン監修：限研吾建築都市設計事務所

三洋販売広島支社
CM：日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社

UGTプロジェクト
株式会社ヤスデザインインターナショナル 深津 泰彦

北海道大学フード & メディカルイノベーション国際拠点
デザイン監修：日建設計

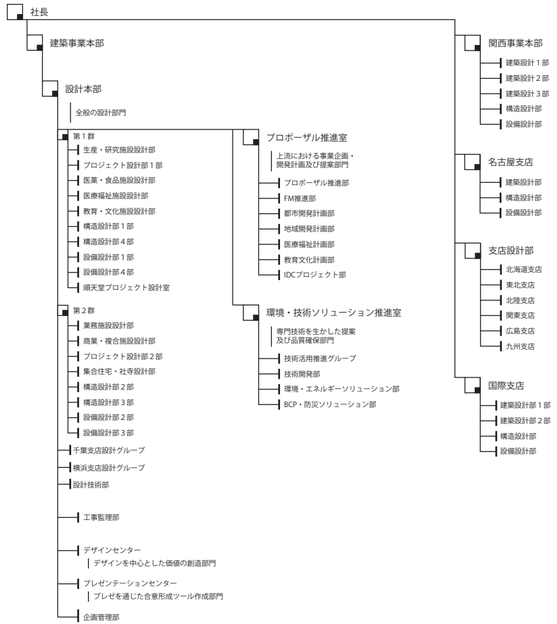
博多グリーンホテル1号館
ライトデザイン

*2 インテリアデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス

*3 ランドスケープデザイン：フィールドフォー・デザインオフィス

*4 撮影：新建築社 写真部

全国設計・プロポーザル系組織図　（2015.12 月現在）



発　行　日　2015年12月
編集・発行　清水建設株式会社
／設計本部
〒104-8370 中央区京橋2-16-1
03-3561-1111（代）
編集事務局　設計本部
企画管理部
印　刷　所　（株）ピーディーシステム
年１回発行予定

非売品